

<報道資料>

2025年1月6日

PR68-C02

年頭所感

『DIVE into ROBOTICS』

2022年11月にオープンした、モルテン初のテクニカルセンター molten [the Box] も軌道に乗り、今まで以上に多くのお客様やパートナーと交流することができるようになりました。これを土台として、モルテンは新たな技術分野である『ロボット工学』への取り組みを開始します。

昨今の技術革新の進歩は目を見張るものがあり、特にロボットの分野は製造業にとって無視することはできない影響力を持ち始めています。実際に、倉庫では荷物を高速で移動させ、飲食店で配膳を行い、製造現場では無人の工程を実現し、ロボットは私たちの生活や仕事を大きく変え始めています。

モルテンはロボット工学を、製品と製造の2つの分野で活用する方法を模索しています。製品の分野では、『B+ Clutch Shot』というモルテン初のIoT製品を外部のスタートアップと開発を行い、2024年年末に行われた、国内高校バスケットにおける最高峰の大会『SoftBank ウインターカップ 2024』でテストマーケティングを行いました。今年度中に本格的なサービス稼働を目指しています。

製造においては、労働人口減や労務費の高騰などのグローバルで直面している課題に対し、より少人数で、より高い生産性を実現するために、AGVやロボットアームなどを導入する予定です。新しい製造の考え方を実現する工場として、山口県美祢市に自動車向け樹脂部品の新工場を建設し、2025年8月に本格稼働を開始します。

それに加え、ロボットコンテストを軸として、エンジニアとクリエイターが技術、知識、アイデア、人脈を交換する、世代や属性に開かれたコミュニケーションを促すコミュニティ Robotics Open eXchange ROX（以下、ROX（ロックス））を立ち上げ、2024年8月に『ROX プレイメント 2024』を開催しました。2025年8月には、第一回大会を開催し、企業と学生、そして様々な分野のクリエイターを集め、ハードウェア大国日本を復活させるための熱源をつくっていきます。

モルテンは68年目も、常に新たな分野に挑戦し、スポーツ、自動車、医療福祉、マリン・産業用品の分野で、新たな価値を生み出していきます。

■ スポーツ用品事業

スポーツ用品事業は、気候変動や体験格差など、スポーツの機会減少につながる社会課題が顕著化する中で、24年10月に「スポーツの報酬は感情だ」という新たなメッセージを発信しました。勝ち負けだけではない、スポーツに関わることで生まれる様々な感情が人生を豊かにすることに着目し、この考えを反映したブランドステートメント『Feel the emotion』とともに、ビジョン、ミッション、バリューを刷新しました。

これまで行ってきたゲームに属するプロダクトやサービスの提供に加え、スポーツを通じた社会課題の解決にも注力し、スポーツの持つ価値を証明していきます。2025年には更なる成長に向けて競技用ボールの自社工場での自動化やロボット活用を想定した製品設計にチャレンジします。また、プレーヤーだけでなく、コーチや家族といったスポーツに関わる様々な人の感情を揺れ動かすボール以外の製品・サービスの開発も強化し、スポーツがいつも人生のそばにある世界の実現に向け、事業活動を広げていきます。

■ 自動車部品事業

車の電動化、ハードからソフトへの価値転換、グローバルサプライチェーンの再構築等、構造的な変化が起ころうとする業界の環境下で、2032 グランドデザイン実現に向け、組織能力蓄積の流れをつくることに取り組んできました。

マツダ株式会社様からは取引先優秀賞を10年連続で受賞、「モルテンは会社一丸となって進む力がある」と評価され、この10年を振り返る貴重な機会となりました。

開発領域ではSVF Value Providerを目指し、Sound・Vibration・Flowの制御因子を極める技術開発に投資、音の研究にオーディオルームを設置するなど、車両目線の開発をキーワードとして新たな価値提案に取り組みました。

デジタル技術を活用しバリューチェーン全体で付加価値を高めるコンセプトD-Processを掲げ、成型技術のデジタル形式知化と生産工程の自動化に取り組み、D-Factoryと名付けた新工場を山口県美祢市に建設中です。

2025年も自動車部品事業が掲げるブランドステートメント『Fun and Functional』の探究と実践に引き続きチャレンジしていきます。

■ 医療・福祉機器事業

2024年2月に、熱可塑性ポリウレタン製マットレスカバーの新商品開発を行い、静止型マットレス市場に導入を果たしました。これによりマットレスカバーの耐久性向上はもちろん、リサイクルという社会問題への解決も図っています。

4月に、石川県立大学と共同研究講座『ウェルビーイング看護学』を設置し、人が幸せを感じる生活や「老いることも悪くない」と思える社会の実現に向けて医療福祉機器の研究開発を進めています。

10月には、事業本部の最高執行責任者が交代をいたしました。

新たな組織体制でも『From the Inside Out』のブランディングをさらに磨き上げ、単なる製品提供に留まることなく、真に必要な製品とサービス提供を通じてその実現に取り組み、原点に立ち戻ってその存在感を高めていきます。

■ マリン・産業用品事業

2024年元日に発生した石川県能登地方地震では、多くの建物が甚大な被害を受ける中、七尾市にある免震病院はほぼ無傷で、発災後も医療活動を継続しました。これにより、免震構造の重要性が改めて認識されましたが、日本における免震建物はまだ普及途上です。当社で実用化に成功した建築免震用積層ゴムが11月に日本免震構造協会より国土交通省に大臣認定の申請がなされ、認定取得予定です。大臣認定の取得により建築確認申請の簡素化、迅速化が図れ、より一層、免震建物の普及に寄与していきます。

環境関連分野では、高耐久防草シートを発売しました。市販の防草シートは耐候性が低く、数年で劣化して使用できなくなることが多いです。また、高耐久を特徴としている製品も、実験データを示しているものはなく信頼性に欠けます。当社では試験検証データに基づき、10年以上の耐久性と、高い防草性能を両立したシートを開発しました。この製品は鉄道の高架下などでご使用いただいております。インフラの保護に貢献しています。

『防災・減災』『環境』関連製品やサービスの提供を通じ、自然と共存できる社会基盤の構築に貢献することで、ブランドステートメントで掲げた『Elements of Foundation』をさらに実現していきます。

お問い合わせ先

株式会社モルテン 広報室

〒733-0036 広島市西区観音四丁目10-97-21

TEL: 082-292-1247 E-MAIL: molten_pr@molten.co.jp